

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2000-174801
 (43)Date of publication of application : 23.06.2000

(51)Int.Cl.

H04L 12/54
 H04L 12/58
 G06F 3/00
 G06F 13/00

(21)Application number : 10-347025
 (22)Date of filing : 07.12.1998

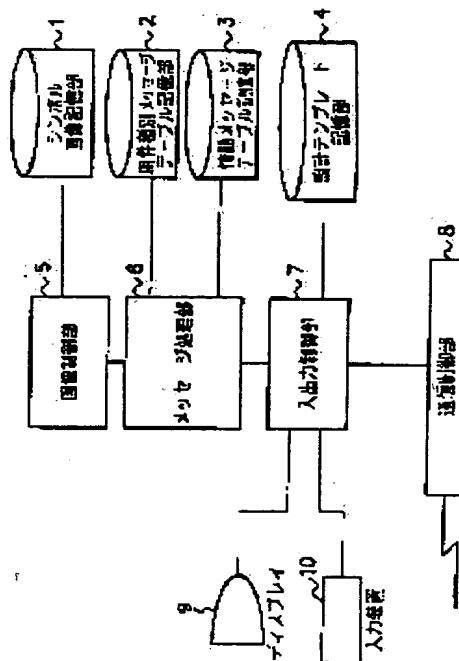
(71)Applicant : NIPPON TELEGR & TELEPH CORP <NTT>
 (72)Inventor : YONEMURA SHUNICHI
 NAKANO HIROTAKA

(54) MESSAGE COMMUNICATION TERMINAL EQUIPMENT, MESSAGE COMMUNICATION METHOD AND STORAGE MEDIUM WITH MESSAGE COMMUNICATION PROGRAM RECORDED THEREIN

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a message communication terminal equipment and its method by which one's own emotion at that time is transmitted to a communication opposite party with a simple operation, together with the business of a message sentence with small communication amount, when transmitting and to provide a storage medium recorded with its program.

SOLUTION: Plural emotion images expressing various kinds of emotions are stored in a storage part 1, together with emotional expression image IDs, plural business classified messages expressing the kinds of message sentence business are stored in the storage part 2 together with business kind ID, plural emotional messages expressing various kinds of emotions are stored in the storage part 3 together with emotional ID and the emotional expression image ID, the business kind message applying to the business of the message sentence and the emotional image to be adapted to one's own emotion are selected from among them and the business kind ID and the emotional ID corresponding to them are transmitted together with the body of the messages, and the business kind messages and the emotion images are displayed.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2000-174801

(P2000-174801A)

(43)公開日 平成12年6月23日(2000.6.23)

(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テマコード(参考)
H 04 L 12/54		H 04 L 11/20	1 0 1 B 5 B 0 8 9
	12/58	G 06 F 3/00	6 5 1 A 5 E 5 0 1
G 06 F 3/00	6 5 1	13/00	3 5 1 G 5 K 0 3 0
13/00	3 5 1		9 A 0 0 1

審査請求 未請求 請求項の数9 OL (全7頁)

(21)出願番号 特願平10-347025

(22)出願日 平成10年12月7日(1998.12.7)

(71)出願人 000004226

日本電信電話株式会社

東京都千代田区大手町二丁目3番1号

(72)発明者 米村 俊一

東京都新宿区西新宿3丁目19番2号 日本
電信電話株式会社内

(72)発明者 中野 博隆

東京都新宿区西新宿3丁目19番2号 日本
電信電話株式会社内

(74)代理人 100069981

弁理士 吉田 精孝

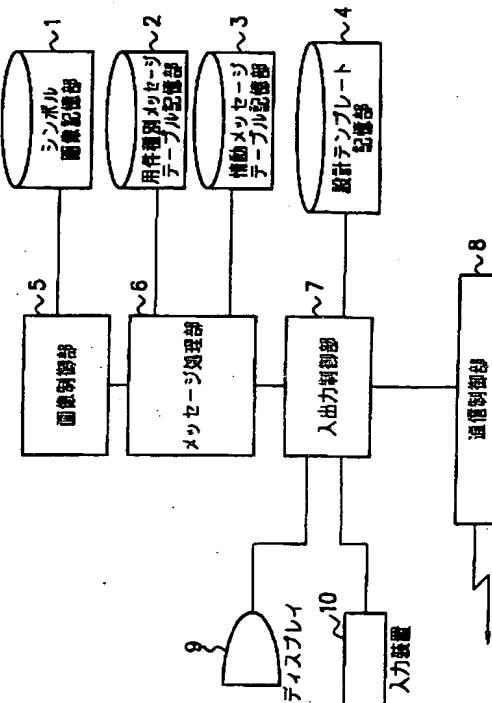
最終頁に続く

(54)【発明の名称】 メッセージ通信端末装置及びメッセージ通信方法並びにメッセージ通信プログラムを記録した記憶媒体

(57)【要約】

【課題】 メッセージ文の用件とともにその時の自分の情動を簡単な動作で通信相手に伝達でき、また、その際の通信量も少ないメッセージ通信端末装置、方法、そのプログラムを記録した記憶媒体を提供すること。

【解決手段】 各種の情動を表現する複数の情動画像を情動表現画像IDとともに記憶部1に記憶させ、メッセージ文の用件の種別を表す複数の用件種別メッセージを用件種別IDとともに記憶部2に記憶させ、各種の情動を表す複数の情動メッセージを情動ID及び情動表現画像IDとともに記憶部3に記憶させ、これらよりメッセージ文の用件に該当する用件種別メッセージ及び自分の情動に適合する情動画像を選択し、それらに対応する用件種別ID及び情動IDをメッセージ本文とともに送信し、受信側での用件種別メッセージ及び情動画像の表示を可能とする。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 画像やテキストによるメッセージを含むメッセージ文を送受信するメッセージ通信端末装置において、各種の情動を表現する複数の情動画像とこれらを識別するための第1の識別子とを対応付けて記憶する第1の記憶手段と、メッセージ文の用件の種別を表す複数の用件種別メッセージとこれらを識別するための第2の識別子とを対応付けて記憶する第2の記憶手段と、前記各種の情動を表す複数の情動メッセージとこれらを識別するための第3の識別子及び各種の情動と一致する第1の識別子とを対応付けて記憶する第3の記憶手段と、複数の用件種別メッセージのうちの1つを送信すべき用件種別メッセージとして選択するとともに、複数の情動メッセージもしくは複数の情動画像のうちの1つを送信すべき情動メッセージもしくは情動画像として選択する選択手段と、前記選択された用件種別メッセージに対応する第2の識別子を第2の記憶手段から取り出すとともに、前記選択された情動メッセージもしくは情動画像に対応する第3の識別子を第3の記憶手段もしくは第1及び第3の記憶手段から取り出し、これらを画像やテキストによるメッセージとともに含むメッセージ文を作成するメッセージ作成手段と、受信したメッセージ文から第2の識別子及び第3の識別子を抽出する抽出手段と、前記抽出した第2の識別子に対応する用件種別メッセージを第2の記憶手段から取り出し、前記抽出した第3の識別子に対応する第1の識別子を第3の記憶手段から取り出すとともに該第1の識別子に対応する情動画像を第1の記憶手段から取り出し、これらを受信したメッセージ文に含まれる画像やテキストによるメッセージとともに表示する表示手段とを備えたことを特徴とするメッセージ通信端末装置。

【請求項2】 選択手段は、複数の用件種別メッセージを送信すべき用件種別の候補として表示するとともに、複数の情動メッセージもしくは複数の情動画像を送信すべき情動の候補として表示する手段と、表示された用件種別の候補のうちの1つに対するユーザの指示に応じて用件種別メッセージを決定し、表示された情動の候補のうちの1つに対するユーザの指示に応じて情動メッセージもしくは情動画像を決定する手段とからなることを特徴とする請求項1記載のメッセージ通信端末装置。

【請求項3】 各種の情動画像としてWoodworkのカテゴリー分類に基づいて分類された6種類の情動画像を使用することを特徴とする請求項1または2記載のメッセージ通信端末装置。

【請求項4】 画像やテキストによるメッセージを含む

メッセージ文を送受信するメッセージ通信方法において、

各種の情動を表現する複数の情動画像とこれらを識別するための第1の識別子とを対応付けて記憶させ、また、メッセージ文の用件の種別を表す複数の用件種別メッセージとこれらを識別するための第2の識別子とを対応付けて記憶させ、また、前記各種の情動を表す複数の情動メッセージとこれらを識別するための第3の識別子及び各種の情動と一致する第1の識別子とを対応付けて記憶させておき、

メッセージの送信時は、

複数の用件種別メッセージのうちの1つを送信すべき用件種別メッセージとして選択するとともに、複数の情動メッセージもしくは複数の情動画像のうちの1つを送信すべき情動メッセージもしくは情動画像として選択する選択過程と、

前記選択された用件種別メッセージに対応する第2の識別子を前記記憶内容から取り出すとともに、前記選択された情動メッセージもしくは情動画像に対応する第3の識別子を前記記憶内容から取り出し、これらを画像やテキストによるメッセージとともに含むメッセージ文を作成するメッセージ作成過程とを行い、

メッセージの受信時は、

受信したメッセージ文から第2の識別子及び第3の識別子を抽出する抽出過程と、

前記抽出した第2の識別子に対応する用件種別メッセージを前記記憶内容から取り出すとともに、前記抽出した第3の識別子に対応する情動画像を前記記憶内容から取り出し、これらを受信したメッセージ文に含まれる画像やテキストによるメッセージとともに表示する表示過程とを行うことを特徴とするメッセージ通信方法。

【請求項5】 選択過程は、複数の用件種別メッセージを送信すべき用件種別の候補として表示するとともに、複数の情動メッセージもしくは複数の情動画像を送信すべき情動の候補として表示する過程と、表示された用件種別の候補のうちの1つに対するユーザの指示に応じて用件種別メッセージを決定し、表示された情動の候補のうちの1つに対するユーザの指示に応じて情動メッセージもしくは情動画像を決定する過程とからなることを特徴とする請求項4記載のメッセージ通信方法。

【請求項6】 各種の情動画像としてWoodworkのカテゴリー分類に基づいて分類された6種類の情動画像を使用することを特徴とする請求項4または5記載のメッセージ通信方法。

【請求項7】 画像やテキストによるメッセージを含むメッセージ文を送受信するメッセージ通信プログラムを記録した記憶媒体において、該プログラムはコンピュータに読み取られた時、該コンピュータに、各種の情動を表現する複数の情動画像とこれらを識別す

るための第1の識別子とを対応付けて記憶させ、また、メッセージ文の用件の種別を表す複数の用件種別メッセージとこれらを識別するための第2の識別子とを対応付けて記憶させ、また、前記各種の情動を表す複数の情動メッセージとこれらを識別するための第3の識別子及び各種の情動と一致する第1の識別子とを対応付けて記憶させ、

メッセージの送信時は、

複数の用件種別メッセージのうちの1つを送信すべき用件種別メッセージとして選択するとともに、複数の情動メッセージもしくは複数の情動画像のうちの1つを送信すべき情動メッセージもしくは情動画像として選択する選択過程と、

前記選択された用件種別メッセージに対応する第2の識別子を前記記憶内容から取り出すとともに、前記選択された情動メッセージもしくは情動画像に対応する第3の識別子を前記記憶内容から取り出し、これらを画像やテキストによるメッセージとともに含むメッセージ文を作成するメッセージ作成過程とを行わせ、メッセージの受信時は、

受信したメッセージ文から第2の識別子及び第3の識別子を抽出する抽出過程と、

前記抽出した第2の識別子に対応する用件種別メッセージを前記記憶内容から取り出すとともに、前記抽出した第3の識別子に対応する情動画像を前記記憶内容から取り出し、これらを受信したメッセージ文に含まれる画像やテキストによるメッセージとともに表示する表示過程とを行わせることを特徴とするメッセージ通信プログラムを記録した記憶媒体。

【請求項8】 選択過程は、複数の用件種別メッセージを送信すべき用件種別の候補として表示するとともに、複数の情動メッセージもしくは複数の情動画像を送信すべき情動の候補として表示する過程と、表示された用件種別の候補のうちの1つに対するユーザの指示に応じて用件種別メッセージを決定し、表示された情動の候補のうちの1つに対するユーザの指示に応じて情動メッセージもしくは情動画像を決定する過程とからなることを特徴とする請求項7記載のメッセージ通信プログラムを記録した記憶媒体。

【請求項9】 各種の情動画像としてWoodworkのカテゴリー分類に基づいて分類された6種類の情動画像を使用することを特徴とする請求項7または8記載のメッセージ通信プログラムを記録した記憶媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、画像やテキストによるメッセージを含むメッセージ文を送受信するメッセージ通信端末装置及びメッセージ通信方法並びにメッセージプログラムを記録した記憶媒体に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 画像やテキストによるメッセージを含むメッセージ文を送受信可能な通信機器を用いて通信を行う場合、自分が伝えたいメッセージ文（本文）の用件を簡潔に相手に伝えるとともに、自分の情動（感情、気持ち等）をも相手にメッセージとして伝達したいという要望がある。

【0003】 従来、この要望に応える方法としては、例えばFAXであれば、レターヘッドに用件の概要とともに自分の現在の情動を表現する文を記述したり、あるいは用件の概要とともにイラスト等を書き込む方法があった。また、電子メール等では、標題欄に用件の概要とともに、括弧や不等号等の記号を組み合わせた顔文字を記述する方法等があった。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、自分が伝えたいメッセージ文の用件を相手に簡潔かつ正確に伝え、しかも、その時の自分の情動をも同時に相手に伝達したいという要求を上記の方法で満たすためには、メッセージの用件及び現在の情動を適切に表現する文章やイラスト等を新たに作成する必要があり、表現上の困難さ、文書作成の煩雑さを伴うという問題があった。また、括弧や不等号等の記号を組み合わせて顔文字を構成する方法では、構成される顔文字の種類が限られ、その顔文字だけでは情動を表現するには不十分であるため、自分の情動を必ずしも表現しきれないという問題があった。

【0005】 本発明の目的は、自分が伝えたいメッセージ文の用件と、その時の自分の情動を簡単な動作で通信相手に伝達でき、また、その際の通信量をできるだけ少なくし得るメッセージ通信端末装置及びメッセージ通信方法並びにメッセージ通信プログラムを記録した記憶媒体を提供することにある。

【0006】

【課題を解決するための手段】 本発明では、上記目的を達成するため、各種の情動を表現する複数の情動画像を第1の識別子とともに記憶し、メッセージ文の用件の種別を表す複数の用件種別メッセージを第2の識別子とともに記憶し、各種の情動を表す複数の情動メッセージを第3の識別子及び第1の識別子とともに記憶する手段を具備する。

【0007】 また、複数の用件種別メッセージのうちの1つを送信すべき用件種別メッセージとして選択するとともに、複数の情動メッセージもしくは複数の情動画像のうちの1つを送信すべき情動メッセージもしくは情動画像として選択する手段と、選択された用件種別メッセージに対応する第2の識別子及び選択された情動メッセージもしくは情動画像に対応する第3の識別子を前述した記憶手段から取り出し、これらを画像やテキストによるメッセージとともに含むメッセージ文を作成する手段

とを具備する。

【0008】また、受信したメッセージ文から第2及び第3の識別子を抽出する手段と、抽出した第2の識別子に対応する用件種別メッセージ及び抽出した第3の識別子に対応する情動画像を前述した記憶手段から取り出し、これらを受信したメッセージ文に含まれる画像やテキストによるメッセージとともに表示する手段とを具備する。

【0009】従って、メッセージ文の用件に該当する用件種別メッセージ及び自分の情動に適合する情動メッセージもしくは情動画像を選択するという簡単な動作でこれらに対応する識別子をメッセージ本文とともに通信相手に伝達でき、受信側での用件種別メッセージ及び情動画像の表示が可能となる。また、用件種別メッセージや情動画像の伝達に関して通信相手に伝送されるのは識別子のみであるため、通信量を極めて少なくできる。

【0010】

【発明の実施の形態】以下、図面を参照して本発明の実施の形態について説明する。

【0011】図1は本発明のメッセージ通信端末装置の実施の形態の一例を示すもので、図中、1はシンボル画像記憶部、2は用件種別メッセージテーブル記憶部、3は情動メッセージテーブル記憶部、4は設計テンプレート記憶部、5は画像制御部、6はメッセージ処理部、7は入出力制御部、8は通信制御部、9はディスプレイ、10は入力装置である。

【0012】シンボル画像記憶部1には、予め図2に示すような、各種の情動（ここでは、Woodworthのカテゴリ一分類に基づいて分類された、喜び・幸福、驚き、恐れ・苦しみ、怒り・決断、嫌悪、軽蔑の6種類）をそれぞれ表現する複数の情動表現画像（情動画像）と、これらを識別するための第1の識別子、即ち情動表現画像識別子（P E 0 1, P E 0 2, ……P E 0 6）とを対応付けてなる情動画像テーブル11が格納されている。

【0013】また、用件種別メッセージテーブル記憶部2には、予め図3に示すような、メッセージ文の用件の種別（ここでは、通知・報告、案内、依頼、問い合わせ、あいさつ、お礼、お祝い、お見舞い、お詫び、抗議の10種類）を表す複数の用件種別メッセージと、これらを識別するための第2の識別子、即ち用件種別識別子（C 0 1, C 0 2, ……C 1 0）とを対応付けてなる用件種別メッセージテーブル12が格納されている。

【0014】また、情動メッセージテーブル記憶部3には、予め図4に示すような、前述した各種の情動を表す複数の情動メッセージと、これらを識別するための第3の識別子、即ち情動識別子（E 0 1, E 0 2, ……E 0 6）と、各種の情動と一致する前記情動画像テーブル11中の情動表現画像識別子（P E 0 1, P E 0 2, ……P E 0 6）とを対応付けてなる情動メッセージテーブル

13が格納されている。

【0015】また、メッセージテンプレート記憶部4には、予め図5に示すような、メッセージ通信で使用されるメッセージ文14やメッセージ文の一覧15の書式を規定するテンプレートが格納されている。

【0016】次に、前述した通信端末装置を用いたメッセージ通信の動作を説明するが、ここでは電子メールの送受信を行う場合を例にとって説明する。

【0017】図1において、ユーザが入力装置10より送信すべき電子メールの作成を命じると、入出力制御部7は、設計テンプレート記憶部4からメッセージ文設計用のテンプレートを読み込む。この状態でユーザが入力装置10からテキストを入力し、もしくは別途、予め記憶させておいたテキストを選択すると、これらのテキストが埋め込まれたメッセージ文がディスプレイ9上に表示される。

【0018】また、この際、ユーザが入力装置10より用件種別メッセージ及び情動画像の付与を命じると、メッセージ処理部6は、用件種別メッセージ記憶部2及び情動メッセージテーブル記憶部3から、用件種別メッセージテーブル12及び情動メッセージテーブル13を一時読み込み、そのうち、各用件種別メッセージを送信すべき用件種別の候補として、また、各情動メッセージを送信すべき情動の候補として、入出力制御部7を介してディスプレイ9に表示する。なお、画像制御部5を介してシンボル画像記憶部1から情動画像テーブル11を一時読み込み、各情動メッセージの代わりに各情動画像を表示するようにしても良い。

【0019】ここで、ユーザが入力装置10により、表示された用件種別の候補のうちの1つを指示し、また、表示された情動の候補のうちの1つを指示することにより決定（選択）すると、入出力制御部7は、選択された用件種別メッセージに対応する用件種別識別子及び情動メッセージもしくは情動画像に対応する情動識別子を、前記用件種別メッセージテーブル12及び情動メッセージテーブル13（あるいは情動画像テーブル11も用いて）から取り出し、メッセージ文の所定の領域、例えばヘッダ情報内に埋め込む。

【0020】このようにして作成された用件種別識別子及び情動識別子付きの電子メールは、通信制御部8から通信線を介して受信側の端末装置に送られる。

【0021】一方、受信側の端末装置では、前述した用件種別識別子及び情動識別子付きの電子メール（メッセージ文）を、通信線を介して通信制御部8で受信する。この際、受信したメッセージ文のヘッダ情報内に、用件種別識別子（テーブル12中のID）及び情動識別子（テーブル13中のID）が含まれているものとする。

【0022】受信された電子メールは、入出力制御部7に一時蓄積される。これと同時に、電子メールのヘッダ情報がメッセージ処理部6に送信され、一時蓄積され

る。

【0023】メッセージ処理部6では、用件種別メッセージ記憶部2及び情動メッセージテーブル記憶部3から、用件種別メッセージテーブル12及び情動メッセージテーブル13を一時読み込み、既にメッセージ処理部6に一時蓄積されているヘッダ情報とテーブル12及び13中の各IDとの比較を行う。

【0024】比較の結果、もし、ヘッダ情報中の用件種別識別子に対応する識別子がテーブル12中にあり、ヘッダ情報中の情動識別子に対応する識別子がテーブル13中にあれば、メッセージ処理部6は対応する用件種別メッセージを用件種別メッセージテーブル12から読み出すとともに、対応する情動メッセージと情動表現画像識別子を情動メッセージテーブル13から読み出す。

【0025】ここで読み出された情動表現画像識別子は画像制御部5に送られ、これによってシンボル画像記憶部1に記憶されている情動画像テーブル11から、対応する情動表現画像が検索され、画像制御部5を介してメッセージ処理部6へ伝送され、一時記憶される。

【0026】ID比較の結果、もし、ヘッダ情報中の識別子と各テーブル中のIDとが一致しなかった場合には、メッセージ処理部6はヌルコードを入出力制御部7に送信する。

【0027】一方、設計テンプレート記憶部4より、メッセージ文設計用のテンプレートが入出力制御部7に読み込まれる。入出力制御部7では、受信された電子メールに含まれるヘッダ情報を、メッセージテンプレートで決められた通りの書式に組み立てると同時に、メッセージ処理部6より送られてきた用件種別メッセージ及び情動表現画像をテンプレートの書式に従って組み立てる。

【0028】入出力制御部7においてメッセージテンプレートで指定された通りに組み立てられたメッセージ文はディスプレイ9に送られて表示される。

【0029】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、メッセージ文の用件に該当する用件種別メッセージ及び自分の情動に適合する情動メッセージもしくは情動画像を選択するという簡単な動作でこれらに対応する識別子をメッセージ本文とともに通信相手に伝達でき、受信側での用件種別メッセージ及び情動画像の表示が可能となる。また、用件種別メッセージや情動画像の伝達に関して通信相手に伝送されるのは識別子のみであるため、通信量を極めて少なくできる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のメッセージ通信端末装置の実施の形態の一例を示すブロック図

【図2】情動画像テーブルの一例を示す図

【図3】用件種別メッセージテーブルの一例を示す図

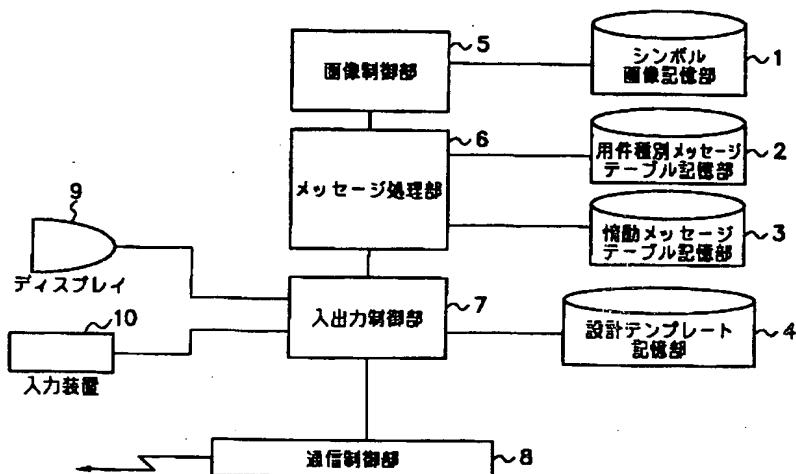
【図4】情動メッセージテーブルの一例を示す図

【図5】メッセージ文及びメッセージ文の一覧の表示例を示す図

【符号の説明】

1：シンボル画像記憶部、2：用件種別メッセージテーブル記憶部、3：情動メッセージテーブル記憶部、4：設計テンプレート記憶部、5：画像制御部、6：メッセージ処理部、7：入出力制御部、8：通信制御部、9：ディスプレイ、10：入力装置、11：情動画像テーブル、12：用件種別メッセージテーブル、13：情動メッセージテーブル、14：メッセージ文、15：メッセージ文の一覧。

【図1】



【図2】

情動表現画像ID	情動表現画像
PE01	
PE02	
PE03	
PE04	
PE05	
PE06	

【図3】

ID	用件種別
C01	通知・報告
C02	案内
C03	依頼
C04	問い合わせ
C05	あいさつ
C06	お礼
C07	お祝い
C08	お見舞い
C09	お詫び
C10	抗議

~12

【図4】

ID	情動	画像ID
E01	喜び・幸福	PE01
E02	驚き	PE02
E03	恐れ・苦しみ	PE03
E04	怒り・決断	PE04
E05	姉妹	PE05
E06	軽蔑	PE06

~13

【図5】

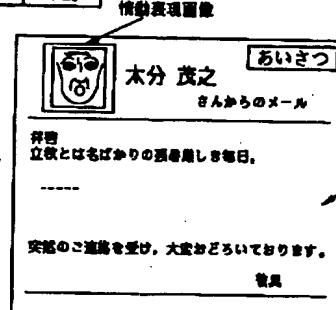
受信メール一覧					
日付	用件種別	アドレス	件名	優先順位	ステータス
10/10	案内	Satou@ntt	第3回映像研究会のお知らせ	低い	未読
10/10	通知	Yasuda@ntt	物品購入処理	普通	未読
10/10	問い合わせ	Suzuki@ntt	経理番号123の処理	高い	未読
10/10	通知	Kato@ntt	経理番号123の処理	普通	未読
10/10	お詫び	machi@ntt	先日の研究所見学	普通	未読
10/10	お詫び	mari@ntt	共同研究の権利について	最高	未読

~15

情動表現画像

用件種別メッセージ

本文



用件種別メッセージ

用件種別メッセージ

本文

本文

本文

本文

フロントページの続き

Fターム(参考) 5B089 GA21 GB04 HA01 JA31 JB01
JB03 KA02 KB06 LB04 LB14
5E501 AB16 AB18 AB20 BA03 CA03
CB02
5K030 GA18 GA20 HA06 HB01 HB02
HB16 HB21 JT02 KA06 KA08
LE12
9A001 BB02 BB03 BB04 CC02 DD10
DD15 EE02 HH28 HH33 JJ14
JJ18 JJ21